

F2-29

## 千葉県松戸市の常盤平団地における「通り」のイメージに関する基礎的研究

—さくら・けやき・ゆりのき・さるすべりの4通りを対象として—

Basic Study on the Image of “Street” in Tokiwadaira Housing Complex in Matsudo city, Chiba Prefecture

- Focusing on Sakura-dori, Keyaki-dori, Yurinoki-dori, and Sarusuberi-dori-

○青鹿史弥<sup>1</sup>, 西山孝樹<sup>2</sup>, 天野光一<sup>2</sup>

\*Fumiya Aoka<sup>1</sup>, Takaki Nishiyama<sup>2</sup>, Koichi Amano<sup>2</sup>

In this study, in Tokiwadaira housing complex was examined the image of four streets. As a result, on Sakura-dori and Keyaki-dori, events and efforts that form the core of the Tokiwadaira housing complex have continued. In addition, efforts to maintain a beautiful environment, such as maintenance and cleaning of street trees, were common to the four streets. In this way, "town development" is being promoted by community residents so that they can enjoy walking comfortably was clarified.

### 1. はじめに

千葉県松戸市に所在する常盤平団地は、1960年代に日本住宅公団によって造成された初期の代表的な団地の1つである。さらに、新京成線の五香駅・常盤平駅・八柱駅に囲まれた特徴的な地勢を持っている (Figure. 1)。そこで本研究では、常盤平団地内の「通り」が持つイメージの基礎情報を収集することとした。

### 2. 研究方法

本研究では、常盤平団地自治会が発行する昭和45(1970)年から令和4(2022)年までに発行された常盤平団地自治会発行『ときわだいら』を軸に、同自治会発行『常盤平団地50周年記念誌ふるさと常盤平』と松戸市発行『広報まつど』も加え、研究対象とした通りにおけるイベントや取り組みなどをすべて抜き出し、各通りが持つイメージを抽出した。

なお、上述の資料からイベントや取り組みなどが抽出できなかった昭和47(1972)年～昭和54(1979)年、昭和56(1981)年～昭和59(1984)年、昭和61(1986)年～昭和62(1987)年の合計14年間は対象外とした。

### 3. 本研究で対象とした各通りが持つイメージ

#### (1) さくら通り

さくら通りでは、通り沿いに植えられたサクラのイメージが最も強かった。昭和46(1971)年から概ね毎年「さくらまつり」が開始され、歩行者天国も実施されるようになった (Table. 1, 1(1))。

昭和62(1987)年には、自然と調和のとれた道として「日本の道百選」にも選出された。さらに、平成5(1993)年には景観に配慮した広告制作活動が開始された。その成果が着実に身を結び、平成27(2015)年に「第4回松戸市景観表彰 景観づくり活動部門」において「松戸市景観優秀賞」にも輝いた (Table. 1, 1(2))。

さくら通りを美しく保つため、地域の人々が積極的に関与する動きもみられた。小中学生やボランティアによる通り沿いの定期的な清掃活動だけではなく (Table. 1, 1(3)), 通りの由緒を伝える石碑の清掃 (Table. 1, 1(4)), 通りの顔ともいべき、サクラの植え替えも行われていた (Table. 1, 1(5))。このことから、さくら通りを後世へ伝えていきたい地域住民の想いを抽出することができた。さくら通りで実施される年1回のイベントだけではなく、常盤平のシンボルストリートとしてのイメージが今日まで根付いてきたと考えられる。

#### (2) けやき通り

けやき通りでは、昭和60(1985)年に常盤平団地25周年を契機として歩行者天国を実施し、その後の昭和63(1988)年から平成7(1995)年までは「ふれあい広場」として、3(1)で示したさくら通りと同様に歩行者天国を実施した (Table. 1, 2(1))。この歩行者天国が実施されていた期間には、「スポーツ健康フェア」や「市民運動会」など、市民のレクリエーションを図る取り組みが積極的に実施された (Table. 1, 2(1a))。さらに、平成6(1994)年には市民からの街路景観に対する評価が高いことから「新・日本街路樹百景」に選ばれた。



Figure. 1 研究対象とした常盤平団地の各通りの位置図

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

平成20(2008)年には「ピカピカ作戦」、同年の「けやきクリーン作戦」では前出のさくら通りのフェンス塗装と清掃が併せて実施された(Table. 1, 2(2)).

平成26(2014)年の「第3回松戸市景観表彰 建築物部門(平成25年度)」において、「ときわ平サニーハイツ」が松戸景観賞に受賞した。その理由として、「外壁の改修に当たり、けやき並木のみどりに配慮し、当初計画していた外壁色を見直し、暖かみのある色で、建物の形に合わせて塗り分ける計画にしました。」と示され、ケヤキの緑が際立つように街路景観を配慮した外壁の改修が評価されるに至った。さらに、3年後の平成29(2017)年には、公共施設である松戸市常盤平支所前の壁面清掃をUR都市機構が実施し、「ときわ平サニーハイツ」と同様に、美しい街路景観に配慮したまちなみの形成が積極的に取り組まれた。

また、「さくらまつり」実施時には、けやき通りにおいてもパレードが開催された。けやき通りは新京成線の常盤平駅を起点とし、南北方向に伸びた街路で、常盤平団地のほぼ中心部を通る(Figure. 1)。さくら通りとも交差する通りで、植えられたケヤキが美しく並び、常盤平団地の主たる通りとしての意識があったものと考えられる。けやき通りはさくら通りとの結節点としての機能も持ち合わせていたといえる。

(3) ゆりのき通り

ここまで述べてきたさくら通り、けやき通りでは、通り全体を美しく保つ動きがみられたものの、ゆりのき通りでは松戸市立常盤平第一小学校の近傍のみ、生徒によって花が植えられる美化活動が平成12(2000)年から実施されていた(Table. 1, 3(1))。生徒たちが通う校庭の意識がゆりのき通りへと滲み出ており、美しい環境下で学びたい意識の表れであったと考えられる。

(4) さるすべり(えんじゅ)通り

さるすべり通りは、平成27(2015)年にえんじゅ通りから名称が変更されると共に、植栽についても変更が加えられている。さらに、この通りでは「花植え運

動」が、平成8(1996)年から現在まで継続して実施されている(Table. 1, 4(1))。なお、さるすべり通りでの取り組みは本件のみで、さくら通り、けやき通りのような活発な動きはみられなかったものの、美しい花々が咲き乱れる環境を保つ想いは共通していた。

(5) 複数の通りを活用したイベント等の実施

研究対象とした4つの通りでは、複数の通りを活用したイベントが実施されていた。けやき通りの最南端にある「子和清水」を目指してウォーキングが実施され、歴史的資源へのアプローチとして、通りの活用がされていた(Table. 1, 5(1))。さらに、「松戸市ウォークラリー大会」では、美しい街路樹を眺めながら巡ることを目的にイベントが発案された(Table. 1, 5(2))。

また、地域の健康づくりのため、平成15(2003)年にさくら通りを経てえんじゅ通りからけやき通りへ至る「新緑の道百選 うきうきウォーキング」など、通年で通り全体を活用した取り組みがみられた。常盤平団地では、高齢化が進行しており、歩いて健康を保つ心地よい街路空間の形成が進んでいた。

4. まとめ

本研究では、常盤平団地の4つの通りを対象に、それらが持つイメージの考察を進めた。さくら通りとけやき通りでは、常盤平団地の軸となるイベントや取り組みを継続的に実施していた。さらに、4つの通りでは街路樹の維持管理や清掃など、美しい環境を保つ取り組みが行われ、快適に歩いて楽しいまちづくりを地域住民が主体に進めていることが明らかとなった。

参考文献

[1] 常盤平団地自治会:ときわだいら, 1970-1971, 1975, 1982, 1999-2001, 2006-2013, 2019-2022, 2022.9.20 閲覧.  
 [2] 松戸市「広報まつど 1988-2022」:  
[https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/matsudo\\_kouhou/kouhou/index.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/matsudo_kouhou/kouhou/index.html), 2022.9.20 閲覧.  
 [3] 松戸市ホームページ: <https://www.city.matsudo.chiba.jp/index.html>, 2022.9.19 閲覧.  
 [4] 常盤平団地自治会:常盤平団地50周年記念誌ふるさと常盤平, 2010.9.7, pp.40-41, p.72, pp.84-93, 2022.9.21 閲覧.  
 [5] 読売新聞:「景観に個性と潤い 「新・日本街路樹100景」選定/読売新聞社120周年企画」, 1994.11.30.

Table. 1 常盤平団地の通り毎にみる取り組みやイベントの実施概要

通り名	実施事項	1970~	1980~	1990~	2000~	2010~	2020~	備考
1.さくら通り	(1)さくらまつり	●						1971年「第1回さくらまつり」開催/2011, 2020~2022年は中止
	(2)景観配慮広告制作活動			●	●	●	●	1993年から広告制作活動を開始/2015年に松戸景観優秀賞に選定
	(3)清掃活動(通り)			○	○			さくらまつり開催後に小中学生による会場周辺の清掃活動実施
	(4)清掃活動(石碑)					○		「日本の道百選」の記念プレートが付された石碑の清掃
	(5)サクラの植え替え				●	●	●	2003年から現在まで定期的な維持管理を実施
2.けやき通り	(1)歩行者天国・ふれあい広場		●	●				1988年~1995年までの期間に開催されていたイベント
	a)イベントの実施		○	○				1980・1985年「常盤平団地20・25周年記念事業」, 1989年「常盤平団地スポーツ健康フェア」, 1990年「市民運動会」開催
	(2)清掃活動				○	○		2008年, 2017年, 2019年に清掃活動を定期的実施
3.ゆりのき通り	(1)花植え活動				●	●	●	2000年~現在まで松戸市立常盤平第一小学校前の通りで実施
4.さるすべり通り	(1)花植え運動			●	●	●	●	1996年から開始され, 通り名が変わった現在も継続して実施
5.複数の通りを活用	(1)史跡・歴史巡り				○	○		2000年, 2007年, 2011年, 2019年と断続開催されたイベント
	(2)街路樹巡り			○	○			1999年~2000年, 2007年と断続開催されたイベント

●: 継続して実施されている(された)取り組みやイベント, ○: 取り組みやイベントが実施はされたが, 継続性はみられないもの